

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。

リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No 3 The company in Shirakawa

アズビル金門白河株
AZBIL KINMON SHIRAKAWA CORPORATION

住 所：表郷深渡戸字大山11-16
生産品目：LP・都市ガスメーター、レギュレータ、ガス漏れ警報器など

人を中心としたオートメーション
人々の「安全・快適・達成感」を実現。



- ① LPガスメーターは小型・軽量モデルで、最新のモータ式遮断弁やマイコンを搭載
- ② 社屋内、敷地内は清掃が徹底されゴミがなく清潔に保たれています
- ③ グリーンキャンペーン。献血、募金やクラブ活動も盛んです
- ④ 3年前に植えられた河津桜。多くの桜が咲いた際に「桜祭り」を計画しています
- ⑤ 大流量試験設備。コンピュータで試験できる国内唯一の設備です
- ⑥ 社長の松井博幸さん（左）と総務部次長の飛知和昌俊さん

「私たちの会社は、ガスメーターの供給を通しインフラ整備の一翼を担っています。また、メーターに搭載されている保安機能によりお客様に安全・安心をお届けしています」と話す総務部次長の飛知和昌俊さん。

アズビル金門白河は、家庭用から工業用まであらゆる用途に合わせたガスメーターを一貫して生産しています。それらのガスメーターは使用量を積算する機能のほか、ガスの流量を監視し、消し忘れや地震発生時に遮断するマイコンを搭載するなど、高度な機能を持っています。

昭和38年に古高山にてダイカスト工場として操業し、昭和43年にはLPガスメーター生産を開始。生産拡大に伴い、平成4年に現在の表郷に移転しました。平成16年にはアズビル金門の連結子会社となり、今年4月にはアズビル金門白河に社名を変更しました。

敷地面積は約8万2千㎡、家庭用LPガスメーターの生産能力は月5万台を誇り、計量器のパイオニアとして、適正な計量と保安機能による安全面や事故防止に大きく貢献してきました。

「地元に根ざした企業として、安全・安心を提供する計量器を作ることが最も大切です。多くの皆さんに信頼される日本一の計量器メーカーを目指します」と社長の松井博幸さんは瞳を輝かせました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、5月18日から6月13日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。6月14日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 不二家川島ベシア店 (有)マルタ商会 田崎徹也) 様
- (株)光陽社どんぐり会 様
- 山口ユリ 様
- 花園会 様
- (株)ウェーブクレスト長浜工場 遠藤大輔 様
- 創作話食「楽庵」 様
- 金子美代子 様
- 個性心理学研究所ブリリアントリーディング支局 様
- 近藤ファミリー&グリーンファーム 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します (5月22日～6月21日)》

- 栃木ボランティアネットワーク 様
- とちぎYMCA 様
- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 青空市場 様
- 明日飛子ども自立の里 様